

アマチュア無線 スマートフォン・ハンディートランシーバSSTV用

## インターフェース SSTV-MOB

### 取扱説明書

#### 目次

概要 1

1. 機能と名称 1

1-1. スピーカー 1

1-2. 左右側面 1

1-2-1. 左側面ジャック 1

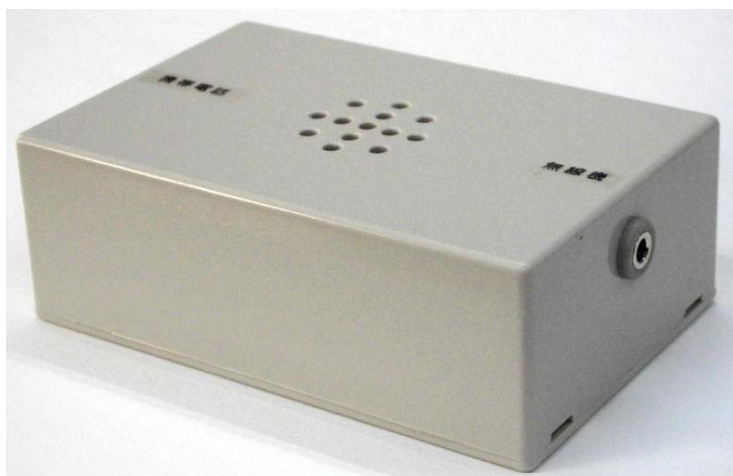
1-2-2. 右側面ジャック 2

2. K方式とY方式の切換 2

3. 入出力調整 3

3-1. SSTV信号の送信音量調整 3

3-2. SSTV信号の受信音量調整 3



## 概要。

本製品は、SSTV運用時、スマートフォン、タブレット、パーソナルコンピュータ等と、ハンディートランシーバーを中継するインターフェースで、内部のジャンパー設定で多種の無線機に対応します。

PTT操作はVOX回路で、パーソナルコンピュータでの運用にもRS-232Cの必要はありません。

尚、電源は必要ありません。

### 1. 機能と名称

#### 1-1. スピーカー

上面パネルにスピーカーがあります、無線機で受信した音声を出力します。

#### 1-2. 左右側面

左側面

携帯電話側音声入出力ジャック(3.5φ4極ステレオプラグ)

右側面

無線機側音声入出力ジャック(3.5φ4極ステレオプラグ)



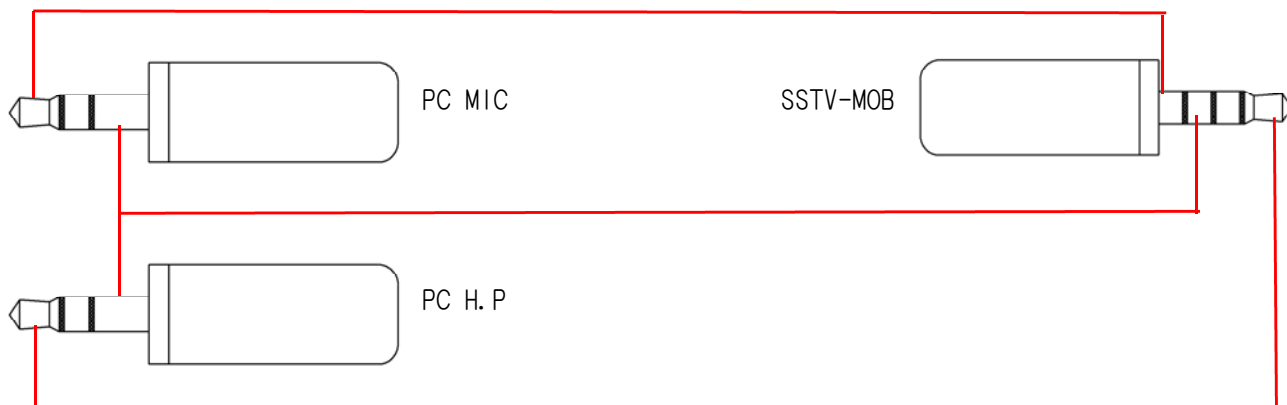
##### 1-2-1. 左側面ジャック

携帯電話またはパーソナルコンピュータと接続します。

Androidスマートフォンまたはタブレットを接続する場合は、市販品のCTIA規格の3.5φ両端4極のステレオ・ミニプラグが使用できます。

iPhoneを使用する場合は、iPhoneの説明書と接続図を参考にしてください。

パーソナルコンピュータを接続する場合は、ヘッドホン端子及びマイク端子をつなぎます。接続図を参考に製作してください。



##### 1-2-2. 右側面ジャック

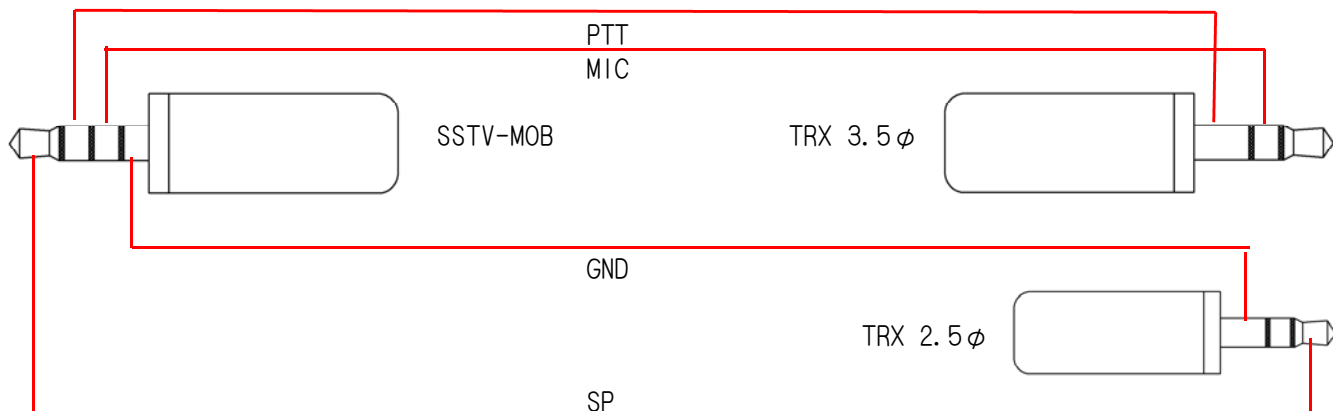
無線機と接続します。無線機は固定機・モバイル機・ハンディー機等が使用できます。

固定機・モバイル機はPTT(スタンバイ)時はPTT端子をGND(アース)に接続する事でスタンバイできる機種が多いですが、ハンディー機等ではケンウッドを除くメーカーではMICとMIC GNDに抵抗が接続され、MICが動作すると

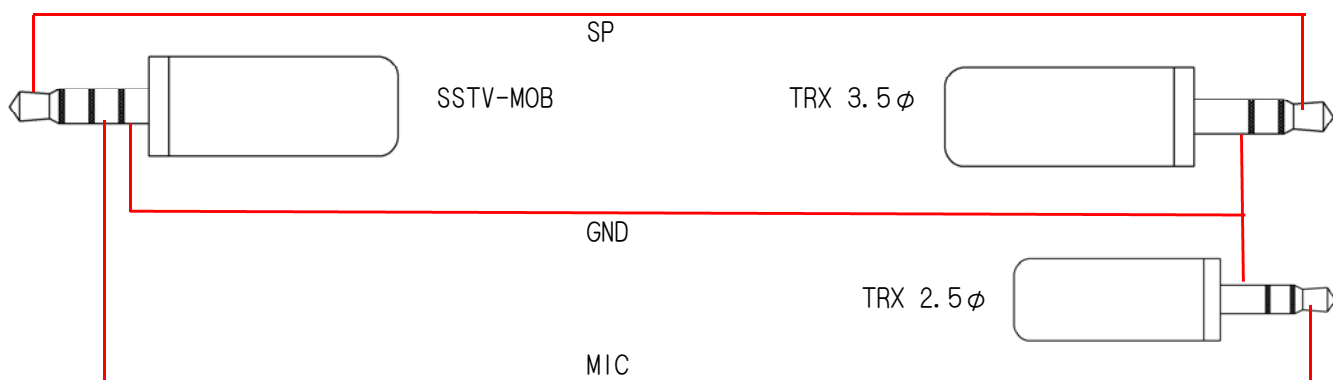
スタンバイ出来る違う方法があります。

本機では、固定機・モバイル機はPTT(スタンバイ)時はPTT端子をGND(アース)に接続する事でスタンバイできる機種をK方式、他機種をY方式と呼びます。

### K方式用ケーブル例



### Y方式用ケーブル例



### Y方式用ケーブル例2

八重洲無線のVX-5等ですと、Androidスマートホンまたはタブレットを接続する場合に使用する市販品のCTIA規格の3.5φ両端4極のステレオ・ミニプラグが使用できます。

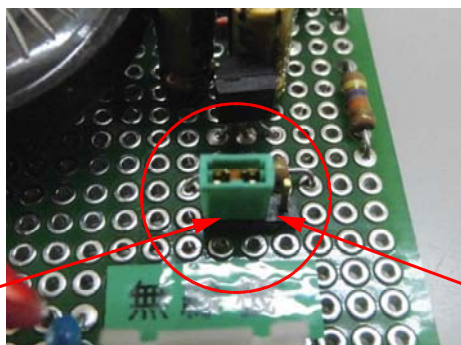
## 2. K方式とY方式の切換



本体右側面下側の切り欠きにマイナスドライバー等でこじり、蓋を開けます。  
寸法の合わない物(工具)で作業しますとケースを破損する場合がありますので、慎重に作業してください。

初期はY方式に設定されています。

工具差し込み箇所



左側(K方式)

右側(Y方式)

Y方式でICOM・STANDARD・YAESUのハンディートランシーバが使用できます。

無線機の取扱説明書を確認し、接続ケーブルを製作してください。

### **3. 入出力調整**

#### **3-1. SSTV信号の送信音量調整(VOXレベル調整)**

スマートフォンまたはパーソナル・コンピュータの音声出力を最小にし、SSTV信号を送信した時に無線機のPTTが動作し、送信出来るまで音声出力を大きくします、極端に出力を上げますと本機および無線機の故障につながります。

#### **3-2. SSTV信号の受信音量調整**

SSTVソフトウェアの受信画面で、受信信号のレベルが適正になるよう無線機のAFボリュームを調整してください。